

■議事結果

【議題】「第2期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画」に基づく令和5年度施策の実施状況評価（案）について

○主な委員意見

○個別目標にかかる取組状況等について

総論

- ・個別目標について目標値を概ね達成、また、各種取組みが進んでいることを確認した。

普及啓発

- ・ギャンブルの主流は今やオンラインであり、ポータルサイトができたことは評価。
- ・借金を肩代わりしている家族も多く、本人だけでなく家族への啓発について予算を拡充してもらいたい。
- ・オンラインカジノに関する啓発や違法サイトの取締りなど、昨今、警察庁の取組みが進んでいる印象。推進会議の場に、警察・厚生局関係者も参画いただきたい。
- ・若年への予防啓発が重要。依存症に加え、金融リテラシーに関する知識の啓発などが必要。教育委員会など学校関係者との連携をより深めていく必要がある。

相談支援

- ・市町村の消費生活相談窓口においても、依存症に関する相談対応がなされるよう周知が必要。
- ・借金相談について、当事者やご家族などが金銭面で心配されないよう法務省の「法テラス」なども紹介してもらいたい。

回復支援

- ・回復には長い年月を要する。息の長い伴走型支援が大事。

人材養成

- ・人材育成の取組みについて、研修会等において民間団体等との連携をより進めてほしい。
- ・支援者の対応力向上が求められる。実際の事例や回復者をみる経験こそが必要。

○まとめ

- 上記意見を踏まえ、知事を本部長とする「大阪府ギャンブル等依存症対策推進本部会議」（3/28書面開催）において、令和5年度施策の実施状況評価の結果取りまとめを行う。